

つい先日まで続いていた真夏日が、あっという間に秋を感じさせる気温になり枚上着が欲しくなる季節になって来ました。このまま一気に寒さ到来とはいかないと思いますが、夏の象徴であるせみの声も聞かれなくなり、秋の虫の音色に変わり始めています。

秋の長雨の季節が来ますが、十分な予防対策のもと工事を進めていきます。

## 現在行われている工事の概要と今後の予定

### 北側仮設調整池工事

仮設の調整池工事に着手しました。  
暗渠排水工事に着手しました。

### 高台造成工事

伐採工事を継続しています。  
小中学校の代替仮設避難路工事を  
継続しています。

## 現在の工事の状況

高台造成のための伐採工事も順調に進み、工事車両の進入場所からは奥の方まで山肌が見えるようになって来ました。

伐倒した樹木はその場で枝払いを行い、運搬しやすい長さに切りそろえて急な斜面でも昇降できるキャタビラ重機を使ってダンプが入れる所まで運搬します。現場の中の整理整頓も安全のために必要なことなので、日々行いながら作業を進めています。

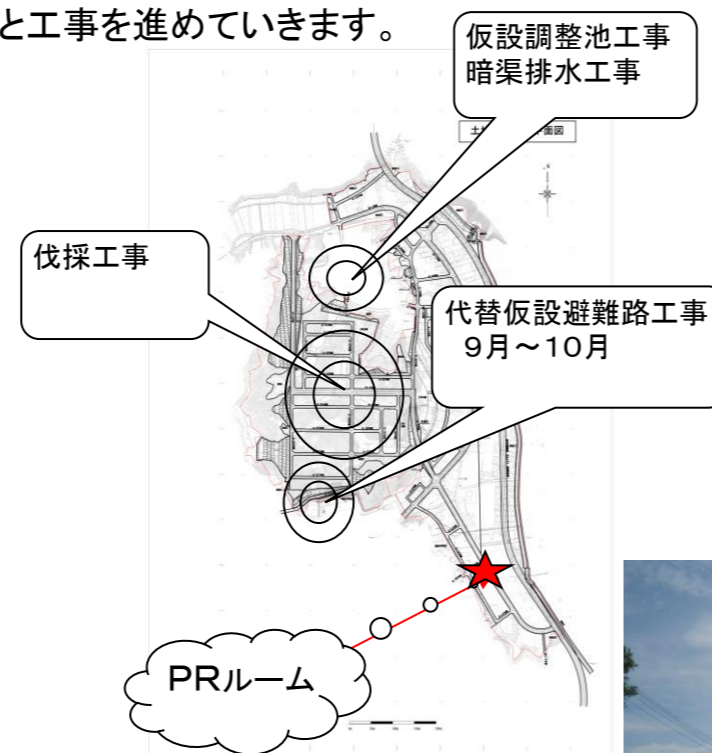
また、整備区域北側で仮設の調整池を作り始めました。敷地に大雨が降って、雨水が流れ出た時に、一時的に溜めて流末の負担を減らすことが目的です。これも、伐採工事着手前の準備工として行っておく必要があります。



奥まで伐採の進んだ高台工事入り口付近



北側仮設調整池のための大型土のう作成



## 避難訓練

8月29日金曜日、午前8時40分防災無線のサイレンが鳴り、防災訓練が行われました。工事関係者もそれぞれの地域で避難場所への移動をし訓練に参加しました。また、沼ノ内の現場事務所の従業員も弁天様に徒歩で移動しました。

薄磯の現場では、前日までに避難場所を古峯農商神社と決めました。8時から作業開始の状況の中でサイレンが鳴ると作業を止めて安全を確認し、現場詰所に集合し全員で神社に移動しました。

訓練とはいえサイレンが鳴った後の行動は、全員が統率の取れた訓練を行うことが出来、もしもの時の対応が確認出来ました。安全に現場を進めるための根本を見直す良いきっかけとなりました。



全員で神社へ避難



避難をした神社で行った点呼

## 現場事務所連絡先のご案内

安藤ハザマ・五洋・西武・玉野総合・基礎地盤いわき市震災復興事業共同企業体

通称：豊間・薄磯震災復興JV

住所：いわき市平沼ノ内諏訪原1-12-5

電話：0246-98-2610

責任者：最上 登久也(モガミ トクヤ)

渉外担当：大橋 正英